

令和元年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 和光大学 実施報告書



実施主体 和光大学 菅野(かの)ゼミ

実施内容 公立図書館 & 大学図書館とコラボレーションした啓発活動

### ①事前に取り組んだ内容

ゼミ授業で「養育事典」を用いた事前学習や児童養護施設の視察、図書館職員によるPOP制作レクチャー受講、児童養護施設職員と退所後のアフターケアに取り組んでいる団体職員へのインタビューを中心に理解を深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

【公立図書館とコラボレーションした展示】(11月21日~12月5日)

公立図書館が設置されている公共施設の交流スペース(写真1)で、子ども虐待に関連する本を紹介したPOPとキーワード説明のパネル展示を行った(写真2)。訪れた地域の人に啓発チラシを配布しアンケート記入の協力を求め、オレンジリボン運動ロゴ入りの蛍光ペンを配布した。また、公立図書館に特設コーナー(写真3)を設けていただき、我々が紹介した本をレンタルできるようにしてもらった。

【大学図書館とコラボレーションした展示】(11月13日~11月27日)

大学図書館に併設する展示室にて、①虐待Q&A、②本の紹介、③児童虐待死事件の新聞記事の紹介、④被虐待児のケアを行っている職員へのインタビューの4つのゾーンを設けて学内で啓発を行った(写真4)。また、②で紹介した本は、大学図書館の入口に特設コーナーを設置しレンタルできるようにした。なお、イベントのPRとして昼休みに学内で啓発チラシ配布を行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

昨年度は大学内の啓発活動のみであったが、今回は3年生と1年生で役割分担して地域の公共施設と大学内の2か所で実施し、活動の幅が広がった。

POP制作は不慣れだったが、地域の人から虐待について意見をもらい、活動について励まされたことは貴重な体験となった。公立図書館では、職業体験に訪れていた地元の中学生とも交流でき、展示を観に来てくれたことは嬉しかった。

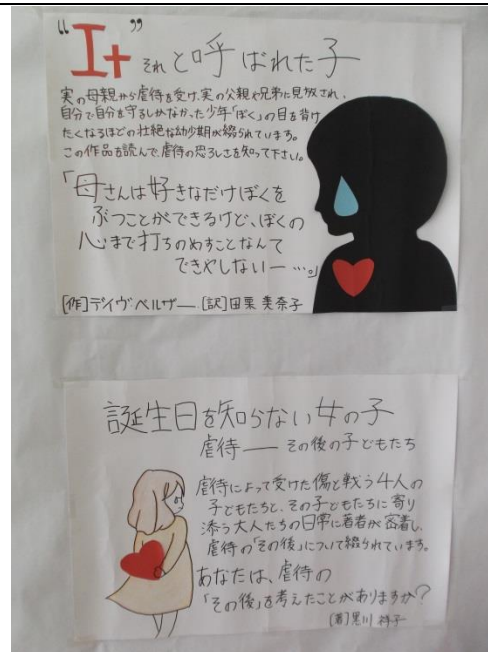
大学図書館の展示室では、4つのブースを設けたことで虐待問題になじみのない学生にも関心を高めてもらえた



(写真1) 公共施設でのパネル展示

のではないだろうか。

今後は、公共施設のパネル展示に立ち寄ってくれる人を増やすための工夫を検討し、後輩に託したい。図書館では、特設コーナーを設けたことですぐに借りる人がいたと報告を受けたため、今後も図書館とのコラボレーションを継続できるようにしたい。



(写真 2) 子ども虐待関連本の紹介 (POP 展示)



(写真 3) 公立図書館の特設ブース



(写真 4) 大学図書館に併設する展示室での啓発活動